



キャリアウィーク

見・調・聞・動・話・感・考・知・表

7月5日（火）から7月7日（木）まで、各学年ともキャリア学習を深める期間として、産業体験・職場体験・地域探究活動等に出かけてきました。大変忙しい中にも関わらず、たくさんの方々、各方面からのご支援・ご指導・ご協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

この取組における価値の高いところは、体験をメインに据えながらも、事前学習において『なぜ?』『どうやって?』『なにを?』等の“問い”を大事にしながら自らのテーマについて準備を進めてきたところでした。あらかじめ用意されたものでも学習はできますが、今回のように「自分で探す」「自分で見つける」ことによって、意欲が高まり、活動に対する姿勢も明らかに向上していました。講師の先生方からお話を伺う場面でも前のめりになって、必死にメモを取りながら、一つでも多くのことを見つけようとする様子がたくさん見られました。最終的なゴールは「表現する」「発信する」ことですが、それぞれがどのような工夫を凝らして、たくさん学び、経験したことを伝えてくれるのか今からとても楽しみです。

【事前学習の様子】「ああでもない。こうでもない。どう思う？ あ！そうか!!」



【出発の朝 ～少しの緊張と楽しさと～】「ドキドキ、ワクワク。行ってきます!!」



【7学年 産業体験・ワカメ体験学習】「働かって、育てるって大変なんだな」



【8 学年・職場体験】「すべては経験から。社会性も学ぶことができました」



ご厚意により町議会
議場で疑似体験も
できました

【9 学年・探究活動】「なるほど～。そういう考え方もあるのか。刺激になるなあ」



こんなゴミあったよ！

地域の皆さま、東大海洋研の皆さま、大槌高校の皆さまと交流する中で、新たな発見がたくさんありました。それを今後、自分にどう活かしていくのか、学習の深まりに期待しています。

吉里吉里海岸一斉清掃 がんばりました！

～自然を守るため 地域を守るため 自分たちが楽しく泳ぐため!～

7月10日(日)、今年も吉里吉里海岸一斉清掃が開催されました。朝早くから 300 名以上の方々が参集し、吉里吉里海岸の海開きに備えて清掃活動に励みました。地域外からの参加者もいらしたとのこと。大変有り難いことです。生徒たちも全員揃って活動に取り組みました。おかげさまで大変きれいな砂浜が見られるようになりました。

回収後に教振協の大森勝美会長さんから、「ゴミがこれだけたくさん回収されたことの実事やその後どのような処理がされているかも子どもたちには学んでほしい」とのお話もありました。ゴミが出てしまうことは事実なので、それを減らし、ゼロを目指していくのもこれから生きていく生徒たちには、是非考えてほしいことだと痛感しています。

ご協力いただいた皆さま、PTA の皆さま、ありがとうございました。

